新型コロナウイルス（COVID-19）

ロサンゼルス郡公衆衛生局
職場でのCOVID-19への対応

COVID-19関連の制限が緩和されると、通常の職場を含め、より多くの人々が家の外に集まるようになり、その結果、感染や病気の可能性が高まります。雇用主は、COVID-19の症例が特定された場合、または職場でCOVID-19に暴露される可能性がある場合に対応する準備をする必要があります。

症例とは、COVID-19検査で陽性と判定された人、またはCOVID-19と一致する症状のある人を指します。 従業員の中で症例が報告された場合、感染の可能性のあるすべての人を自己隔離のために帰宅させ、また従業員間の濃厚接触者は自己検疫のために帰宅させます。雇用主の計画には、職場での拡散の範囲や他の従業員へ起こりうるリスクを明確にするために、すべての検疫中の従業員に対する検査の手配を含めた検討を行う必要があります。

職場でのCOVID-19の蔓延を予防するための効果的な手段には、以下が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

- 物理的距離措置（すべての従業員、顧客、訪問者の間隔を少なくとも 6 フィート確保）
- 感染源防止のための普遍的なフェイスカバーの着用
- こまめな手洗いの励行
- 頻繁に触れる物の表面の環境清掃および消毒
- 空調システムが正常に機能しており、可能な場合は換気が強化されていることを確認する。
- 従業員が病気の場合、又は病気の家族の世話をするために自宅待機することを許可する懲罰的ではない病気休暇ポリシーを確立する。 従業員がこれらのポリシーを認識していることを確認する。
- 従業員が職場に入る前の症状確認。
- 症状を発症しているスタッフを職場から直ちに排除し、かつ職場におけるすべての濃厚接触者の検疫を直ちに行う。

すべての雇用主は、ロサンゼルス郡公衆衛生局のビジネスの再開チェックリストに従って、自分の職場内でのCOVID-19拡散を防止する必要があります。 多くの場合、これらの対策を講じることにより、職場でのCOVID-19のさらなる拡大を予防し、抑制することができます。

接触者の調査

従業員の中でCOVID-19の症例を特定したら、雇用主は調査を実施して、感染者が他者への感染力がある期間に、感染者に曝された職場（従業員と現場で一緒の時間を過ごした非従業員の双方）に関わるすべての濃厚接触者を特定する必要があります。感染者は、症状が最初に現れる48時間前から、症状が最初に現れてから少なくとも10日間後、かつ発熱の解消と呼吸器症状の軽減として定義される回復後3日間までは、感染性があると思われます。実験室レベルでCOVID-19への感染が確認された自覚症状のない人は、最初の分子検査（PCR検査とも呼ばれる）で陽性と判定された日付の48時間前から、その検査の10日後まで感染性があると考えられています。

濃厚接触者とは、感染者が感染力を持つ期間に感染者に以下のようなかたちで接触をした職場内の個人を指します。

- 感染者から 6 フィート以内に 15 分以上一緒にいる、または
- 感染者の体液や分泌物との接触、例えば咳やくしゃみをあびる、飲み物や食器の共有。

症状がある接触者は直ちに感染者と見なし、自己隔離のために帰宅させ、COVID-19検査を実施する必要があります。 自覚症状のないすべての濃厚接触者は、曝露から14日間の自己検疫をしなければなりません。 在宅勤務できない自己隔離または自己隔離を指示されたスタッフは、有給の病気休暇を付与されなければなりません。

対象を絞った検査

対象を絞った検査は、職場での制御不能なCOVID-19の拡散を防ぐための重要な手段であり、各雇用主の対応計画の一部にする必要があります。 対象を絞った検査は、COVID-19感染者の濃厚接触者に焦点を当て、その人に症状が現れていない場合でも検査を実施します。検査で追加の無症状の感染者が特定された場合、新たに確認された感染者に関わる新しい接触者の調査を開始し、彼らの濃厚接触者を特定して検査します。この手順は、施設で特定された症例ごとに繰り返されます。 物理的距離がさまざまな理由で維持されなかった場合など、個々の濃厚接触者を特定できない状況では、職場全体が曝露されたと見なされ、職場全体に対して検疫と検査を行うことになります。

実験室レベルで感染が確認されたCOVID-19症例が職場で3件以上確認された場合、雇用主はそのクラスターをロサンゼルス郡公衆衛生局888-397-3993に報告しなければなりません。

対象を絞った検査の役割

対象を絞った検査の有用性と制限を認識し、対象を絞った検査が症例管理への影響の有無について理解することが重要です。

対象を絞った検査が役立つ場合

- 感染者との接触があった人の中から、曝露への認識がない、または自覚症状のない COVID 陽性の従業員を特定し、それ以上の拡大を制限または回避できるようにする。

対象を絞った検査が役立たない場合、しかし

- 感染者に接触した人物を特定するための調査、または濃厚接触者の検疫の必要性を排除する。 曝露直後に陰性と判定され、その後感染症が進行し、その間に周囲の人を危険にさらす可能性がある。
- COVID-19 感染者との濃厚接触者が病気を発症するかどうかを明らかにする。 検査は、ある時点での情報を提供するのみで、 潜伏期間（感染症への曝露から発症までの期間）の間に陰性と判定された人は、その後病気を発症する可能性がある。 これは、検査結果が陰性であっても、特定された濃厚接触者は、推奨される 14 日間全体にわたって検疫/適切な予防措置を講じる必要があることを意味する。
- 結果として、検査は濃厚接触者の職場復帰を促進しない。 上記のように、濃厚接触者の検査が陰性の場合は、それがその人が感染していないという意味ではない。 濃厚接触者は、14 日間無症状の状態が継続しない限り、検疫を終えることはできない。 COVID-19 検査結果が陽性の自覚症状のない従業員は、症状が出ない限り、隔離を修了し、最初に検査で陽性判定が出された日の 10 日後に職場に戻ることができる。

職場復帰

衛生担当官命令に従って隔離または検疫が完了すると、スタッフは職場に復帰し、通常の活動を再開することができます。 公衆衛生クリアランスやCOVID-19検査の陰性結果も、職場復帰に必要ありません。

新型コロナウイルス（COVID-19）

ロサンゼルス郡公衆衛生局
職場でのCOVID-19への対応

発生への対応

職場でのクラスター(3件のCOVID-19の症例発生として定義)が特定された場合、ロサンゼルス郡公衆衛生局は、感染対策のガイダンスと推奨事項、技術サポート、および現場固有の対策を提供することを含むクラスターへの対応を開始します。 公衆衛生局のケースマネージャーがクラスターの調査に割り当てられ、施設がとるべき対応への指示を行います。

検査のリソース

- 健康保険のある従業員は、医療従事者に連絡して検査を手配し、結果を雇用主に報告するように指示されます。
- 健康保険がない、または医療従事者が検査を提供できない従業員は、無料の検査サイトを見つけるために 211 に電話してください。 この場合も、結果は雇用主に報告されなければなりません。
- 大きい職場では、従業員健康管理サービスが検査を提供できる場合があります。
- 濃厚接触者の検査が行われる場合は常に、従業員は結果を雇用主に報告する必要があります。 これにより、雇用主は、はじめの症例への濃厚接触者が陽性である場合、接触者の特定、検疫、および検査の追加サイクルを実行することができます。

要約

COVID-19のコミュニティへの感染が拡大しているため、雇用主は職場内のすべての人が感染している可能性があることを想定する必要があります。 環境の清掃、および健康/手指衛生の促進。 感染症が発生した場合は、ロサンゼルス郡公衆衛生局に連絡してクラスターを管理してください。 職場での自覚少女用のない濃厚接触者に対象を絞った検査は、更なる職場での曝露が発生したかどうかを評価するために雇用主が使用することのできる手段として推奨されます。

追加情報

- 職場の責任者向けの COVID-19 よくある質問 http://www.ph.lacounty.gov/media/Coronavirus/docs/business/FAQ-Managers.pdf に関連するその他のリソースについては、ロサンゼルス郡公衆衛生局の ウェブサイト をご覧ください。